

令和元年第7回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日： 令和元年5月14日（火） 於：第1委員会室

II 開会時間： 14時00分

閉会時間： 15時00分

III 出席委員： 教育長 石川 雅史 教育長職務代理者 野田 洋二  
委員 大川 佳郎 委員 妹尾 恵美  
委員 加藤 正枝

IV 欠席委員： ー

V 出席者氏名： 教育次長 藤原 敬一 教育総務課長 三ノ上 創  
学校教育課長 住田 義広 就学前教育課長 牧野 真哉  
社会教育課長 三宅 忍 教育サポートセンター事務長 妹尾 均  
(書記) 山内 祐樹

VI 会議内容：

1. 開 会

2. 前回会議録の承認

平成31年第6回教育委員会会議（H31.4.26）の議決事項等について。

教育長報告：平成31年3月定例市議会一般質問概要について

議 事：議案第15号 玉野市指定学校変更事務取扱要綱の一部改正について 他2件

協 議：令和元年度玉野市教育行政重点施策について（初稿）

そ の 他：重点課題に関する担当委員について 他3件  
(承認)

3. 教育長の報告 なし

4. 議 事 議案第18号 玉野市社会教育委員の委嘱について

(社会教育課長) 資料により説明。

(承認)

5. 協 議

(1) 令和元年5月補正予算の概要について

(就学前教育課長) 資料により説明。

(社会教育課長) 資料により説明。

(学校教育課長) 資料により説明。

(妹尾委員) 障害者スポーツの委託料とは、どこほどの様なことを委託するのか。

(社会教育課長) 玉野市スポーツネットワークJVへ委託する。依頼に応じて学校や障害者団体に指導者を派遣する。また、独自のパイプで県外から講師を呼ぶことも出来る。

(2) 令和元年度教育委員懇談会実施計画(案)について

(教育総務課長) 資料により説明。

(石川教育長) 昨年、野田委員から体育施設の指定管理者と意見交換する提案があったと記憶している。先ほどの障害者スポーツも含め、一つの回はスポーツネットワークJVとの意見交換としたいが、他にテーマや対象についてご提案はあるか。

(野田委員)

- ・小中学校でのキャリア教育の現状と課題。指定校区である庄内中学校区以外の様子。
- ・学校運営協議会のコミュニティースクール化について。
- ・養護教諭の視点から、不登校やいじめ問題、心の相談等について。また同様の観点から保健室の現状について。
- ・1学年1学級時代への対応。現状と課題、落ち着いた学習環境作りの工夫など。

(大川委員)

- ・商工高校卒業生を対象に、高校で受けたキャリア教育が社会でどのように生きているか。また、学校でどのような教育をすべきと感じているかについて。
- ・地域の交通協助員

- (加藤委員) ・食育について  
・小学校での英語教育に対する市の取組。英語教育のメリットとデメリット。
- (妹尾委員) ・ALTが削減される中での英語教育の現状について  
・スチューデントガイド  
・スクールカウンセラー

## 6. その他

### (1) 重要課題に関する担当委員について

- (石川教育長) 資料により説明。  
案のとおりとする。

### (2) 荘内小学校通学バスに係る協議の状況について

- (教育総務課長) 資料により説明。

- (野田委員) 増便の7:15発という時刻に対する保護者の反応は。

- (教育総務課長) 保護者は立ち乗りを回避したい思いが強い。早い時間帯ではあるが、何とか対応しようという方向で話をしてくれている。

- (野田委員) シーバスのルート延伸は実現性が高いのか。

- (教育総務課長) 担当課によると、元々来年度から荘内方面に延伸する案を持っており、予定を前倒しする形で検討を進めるとのことだ。

- (野田委員) 利用料金はどうなるか。

- (教育総務課長) 往復で利用すると年間約40,000かかる。現在の路線バスの定期代は年間約32,000円であり、現在と同じ料金で利用してもらうためには何らかの制度設計が必要だ。

- (加藤委員) シーバスの定員は。

- (教育総務課長) 座席数は20だ。現在利用している路線バスは座席数30のところ約50人が乗り、うち10人ほどが立っている。

次回、教育委員会は令和元年5月28日（火）14：00から第1委員会室で開催するので参集願います。

以上で、第7回教育委員会を閉会します。

議事録調整者

書記

山内 祐樹



会議録署名委員

教育長

石川 雅史



//

教育長職務代理者

野田 洋二

